

地域おこし協力隊

活動日誌

vol.1

cinemagrapher

こうへい
佐原 孝平 さん



【地域おこし協力隊に応募したきっかけ】

もともと「人の原動力になる映像を作りたい」
と思って東京の映像制作会社に4年間勤めていて、去年の7月に独り立ちしました。ある日、川俣町で地域おこし協力隊を募集しているのを知って「移住体験ツアー」に参加してみたところ、農家さんや機織場など町で働く人たちがとても生き活きと、そして自分の仕事に誇りをもって取り組んでいることを知りました。そして映像の力で「伝えられることがたくさんある」「川俣町をもっと盛り上げたい」と思うようになりました。初めての挑戦に不安もありましたが憧れの地方での暮らしと先輩移住者の話を聞いて地域おこし協力隊として活動することを決めました。

【主な活動内容】

月に1本、SNSを利用して新規移住者やUターン、関係人口を増やせるようなきっかけづくりのプロモーション動画を作っていくのが目標です。プロモーション動画といってもどちらかと言うとドキュメンタリーに近い映像を撮りたいと思っています。川俣町の特産品やイベントだけではなく、川俣町での暮らしや、見た人がどこか懐かしさを感じることでできる映像にしたいと思っています。新規移住者の増加はもちろんですが川俣町に住む人でも「ちょっと行ってみようかな」って気軽に出かけるきっかけになればいいなと思っています。ドキュメンタリー映像はお互いの信頼関係が大切です。まずはこの一年町の人と仲良くなりたいと思っているので皆さんよろしくお願いします。



大きなカメラを持った男性を見かけたら私です！気軽に声をかけてください！